

自由応募分科会 3

全体趣旨

阿南友亮（東北大学）

「中国革命と地域社会における権力構造の変遷：「土地革命」神話を超えて」

1927年に勃発した中国国民党と中国共産党との間の戦争は、37年以降の日本による対中侵略の本格化という環境のもとでも完全には中断されず、1950年代に入ってからもしばらく続いた。その間、国民党は大陸の支配権を共産党に奪われた。従来、この戦争は、政治体制とともに社会構造の大きな変革も伴っていたという理解に基づき「革命」という評価を与えられてきた。一方、「革命」という評価の重要な根拠の一つとなってきた「土地革命」と呼ばれる社会変革が実際には共産党の自己申告通りには進まなかったということは既に数多くの研究によって明らかにされている。では、戦争を遂行する際に国民党や共産党が特定の地域社会に対して管理・動員権力を確立しようとした際、党と在地勢力（有力者、中間団体）の間にはどのようなインターアクションが見られたのか。本分科会は、三名の報告者と二名の討論者による議論をつうじてこの問題に関する理解を深めることを目的としている。